

MIZUKAMI VERTICAL BOOST

感染症対策マニュアル

2021年1月15日作成

※内容は情勢の変化により変更する場合があります

エントリー

(1) エントリー開始日

- ・ **エントリー開始日は12/16（水）**とする。
- ・ エントリー開始日に熊本県において緊急事態宣言が発令された場合は開始しない。

開催条件

(1) 開催条件

- ・開催地である熊本県において、**緊急事態宣言およびイベント自粛・外出自粛またはこれに類する要請が発せられていないこと**、もしくは開催当日までに解除になる見込みが明らかであること。

(2) 中止を判断する基準・時期および参加費の取り扱い

緊急事態宣言およびイベント自粛・外出自粛またはこれに類する要請が発せられていて解除の見込みがない場合。

政府や熊本県からの指導及び要請若しくは、イベント開催日約1～2週間前の社会情勢により、事務局にてやむなく中止を判断した場合は、以下のA・Bのいずれかを選択する。

A：2,000円を返金

B：2,000円分の水上村特産品の返礼品

参加条件

(1) 参加条件

- ・大会当日に参加者の居住地において、緊急事態宣言およびイベント自粛・外出自粛または、これに類する要請が発せられていないこと、もしくは開催当日までに解除になる見込みが明らかであること。

参加者へのお願い

(1) 問診票の提出

- ・大会ホームページに掲載（予定）される問診票に下記を記載の上ご持参頂く。
 - ①ゼッケンNo.・氏名
 - ②自宅出発前の体温
 - ③大会前2週間における以下の事項の有無
 - －体調不良（発熱、咳、のどの痛み、だるさ、嗅覚や味覚の異常など）
 - －新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
 - －同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
 - －過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある※上記のいずれかに該当する場合は自主的に参加を見合わせて頂く

(2) 大会中および大会後

- ・マスク等口を覆うものを持参・携帯し、走行時以外は常に着用すること。
- ・こまめな手洗い、アルコールによる手指消毒を行うこと。（特にトイレ後は念入りに）
- ・他の参加者やスタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること。
- ・大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ・感染防止のために主催者が決めたその他のルールを守り、その指示に従うこと。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

当日の対応

(1) 受付

- ・問診票提出を必須とする。
- ・受付会場の入口に消毒液を配置し、手指を消毒した選手のみ受付に進むことができる。
- ・受付前にスタッフによる検温を行う。**37.5°C**以上の発熱がある選手は出走できない。
- ・検温は**非接触型体温計**を使用する。
- ・受付のスタッフは**フェイスシールドとマスク**を着用する。
- ・参加者が距離を置いて並べるよう地面に目印を設置する。
- ・更衣室や待機スペースは用意しない。参加者は予め着替えてくるか、自分の車等を使用すること。

(2) スタート時

- ・**開会式および集合写真撮影は行わない。**
※競技説明など必要事項は事前の資料送付および受付会場でのアナウンスに代える。

当日の対応

(3) 走行中

- ・ 周囲の選手とは、出来るだけ2m以上間隔を空けて走行する。
- ・ 追い抜く時およびすれ違う時は最低1.5m、できれば2m以上間隔を空ける。追い抜く人は予め前走者に声をかけ、両者が協力して間隔を保つ。
- ・ 唾や痰を吐く行為は極力行わない。
- ・ 口をつけた飲料等を走路上に捨てない。

(4) ドリンクの受け渡し

- ・ 消毒液を設置し、手指を消毒した参加者のみ利用することができる。
- ・ スタッフはフェイスシールドとマスクを着用する。
- ・ 飲み物はボトルで提供する。

(5) フィニッシュ時

- ・ 大きな声での声援やハイタッチなどの接触は行わない。
- ・ フィニッシュ後、休憩する選手にはマスク等で口を覆うことを促す。

当日の対応

(6) 救護

- ・ 救護担当者が処置をする際は、その前後に必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。
(処置を受けた選手はその時点で失格)
- ・ コース上での救助をできる限り避けるため、各ASでは特に早めのリタイアを促す。
- ・ リタイア選手回収車両は座席に間隔を空け、また十分な換気をした状態で走行する。

(7) スタッフ

- ・ 大会当日に選手と同等の間診票を提出する。体調不良など不適當な事項がある場合は無理せず参加を見合わせる。
- ・ 大会中は常にマスク等を着用し口を覆う。マスクは各自で持参する。
- ・ 活動を始める前、終了後は必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。
- ・ スタート/ゴール地点および各ASには衛生管理担当者を配置する。担当者は各対策が守られているかチェックリストを用いて随時確認し、複数の人が触れると考えられる場所(トイレのドアノブやレバーなど)はこまめに消毒する。
- ・ 給水提供に当たる人は特にビニール手袋を着用する。終了後は速やかに廃棄する。
- ・ スタッフ同士及び選手とは、出来るだけ2m以上間隔を空ける。
握手やハイタッチなどの接触は禁止。
- ・ スタート/ゴール地点および各ASには予備の使い捨てマスクを設置する。ただし止むを得ない場合を除き、参加者およびスタッフへの提供はしない。

当日の対応

(8) 一般応援

- ・ スタート／ゴール地点および各ASには立ち入らない。
- ・ コース上での応援は禁止しないが、その際はマスク等で口を覆い、大声を掛けないなどの感染防止マナーに協力をお願いする。
- ・ 体調不良など感染を疑わせる事情がある場合は来場を禁止する。